

令和元年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第2回） 会議録

日時：令和元年7月17日（水）

午後1時30分から

場所：佐久市役所602会議室

【出席者】 7名

【事務局】 若林企画課長、木下係長、大井（哲）、中村、大内

1 開会

2 議事

(1) 第二次総合計画前期基本計画進行管理について

事務局	<p>【資料1】「第二次総合計画前期基本計画進行管理について」説明</p> <p>審議の視点としては、平成29年度から平成33年度までの計画である「第二次総合計画前期基本計画」の49の施策における進捗状況や今後の方針について、今後市民の満足度を上げていくためにはどのようにしたら良いのかご意見をいただければと考えております。なお、第2部会では第2章、第3章を担当し、14の施策について審議を行います。それでは、次第に基づき進行させていただきます。</p>
事務局	<p>【資料2】「第二次総合計画前期基本計画 平成30年度進行管理 第2部会資料」 第2章 地域の特徴を活かしたつながりあるまちづくり</p> <p>1 地域の特徴を活かしたまちづくり</p> <p>「土地利用」（1ページ）について説明</p>
部会長	<p>土地利用についてご意見ご質問ありますか。</p>
委員	<p>無電柱化の推進とありますが、具体的な取組はなにかあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在は、無電柱化の方針策定を担当課で進めている段階であり、具体的な取組はまだありません。無電柱化の方法については、地下に埋設させる以外にも、主要道沿いに電柱を設置しないで、家屋等の裏側を回す方法など様々な手法があり研究を進めているところ</p>

	<p>であります。</p>
<p>委員</p>	<p>地下に埋めるのではなく、見えないようにするというのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地下に埋設する方法が一般的ですが、今あるものを埋めるというのはコストが非常にかかりますので、最適な方法による方針の策定を進めています。地域によっては新しいまちを作る際に、地下埋設による無電柱化が選ばれる可能性もあるかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>佐久平駅南を開発するときには、新しい街並みを作ることになることから無電柱化を行うということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>佐久平駅南地区についてはそのような形にしたいという思いはあるかと思えます。しかし、財政的な問題もあることから様々可能性を検討していく必要があるかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>災害防止の観点から無電柱化を推進するとありますが、防災とどう関係するのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地震等により電柱についている変圧器の落下や、電柱自体の倒壊で被害が出たり、安全な交通の妨げになる場合があります。埋設されている方が被害が少ないと一般的には言われております。一方で埋設されている場合には地震による地殻変動等により断線する恐れはあると考えられます。</p>
<p>委員</p>	<p>都市的土地利用と自然的土地利用の調和とはどのようなことでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>一般的に、都市的な土地利用というと、市街地における商業集積等のことを指し、自然的な土地利用というと、農地や山林、自然公園といった部分を指します。</p> <p>無秩序な土地の開発は、まちづくりのうえでも、農地等を活用するうえでも様々な影響を及ぼす可能性があることから、不適切な都市的土地利用と自然的土地利用の混在を避け、調和の取れた土地利用を図りたいということです。</p>

委員	土地の利用をコントロールしていくということでしょうか。
事務局	あくまで緩やかな誘導等により、調和を図るという趣旨であり、具体的に土地利用を制限していくものではありません。
部会長	他にはないでしょうか。ではこのように取り組んでいただきたいと思えます。よろしいでしょうか。
	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「市街地」(2ページ)について説明
委員	満足度指数について、先ほどの「土地利用」とこの「市街地」では、目標とする値の上げ幅が違いますが、この目標値は施策ごとに違っているのでしょうか。
事務局	施策ごとに目標値は違います。目標設定の根拠についても記載しておりますが、「市街地」の項目では、基準値である平成28年までの満足度指数の増加傾向から設定しており、所管課とも検討した結果、5年間で0.05ポイントの増加を目標値としています。
委員	市民満足度の根拠となっているアンケートは、対象となる年齢層や地域によって、大きく傾向に開きが出る可能性があるのでしょうか。アンケートの取り方も大事だと思います。
事務局	市では、市民から1,000人の対象者を無作為に抽出しアンケートを実施しています。平成30年度については、地区別の回答者の割合が浅間地区23.8%、野沢19.6%、中込15.1%、東10.7%、臼田16.1%、浅科6.2%、望月7.8%となっており、それぞれの地域の人口割合におおよそ沿った形で回答されています。
委員	回答の傾向には、地区による違いや、回答者の立場による違いもあると思えます。どのようなことを実施する場合でも全員が満足す

委員	<p>ることは難しいですが、なるべく多くの方が納得できる政策等を進めていただきたいと思います。</p> <p>アンケートに関して、不満であるときに何が不満であるか書けるようにすると良いかと思えます。そういった不満を解決していく事で満足度の向上につながると思えます。</p>
事務局	<p>そのとおりだと思います。しかし、回答の項目が多すぎると、アンケートの自体に回答いただけないことも考えられます。現時点ではアンケートの最後に自由記載欄を設けておりますので、その結果から回答者の意図を読み取るようにしています。</p> <p>全体の傾向としましては、市民アンケートを始めた当初は満足・不満足とはっきりした回答が多くありましたが、徐々に満足・不満足の影響が減り、どちらでもないという回答が増えています。</p>
委員	<p>平均値の取り方については、この調査のように全体の平均を取る方法以外にも、点数の幅を広げたうえで、極端に高いもの・低いものを除き、中間層の回答から考察する方法もあります。このような方法であれば、より全体のニーズに近い意見を考察しやすいかと思えます。質疑</p>
事務局	<p>確かにそういった方法もあるかと思えます。しかしながら、同様の方法でアンケートを取ることで、経年での考察が可能となっておりますので、この満足度指数の方法で市民の満足度を図って行きたいと考えております。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「公共施設」(3ページ)について説明</p>
委員	<p>施設の複合化について、ただ複合化するのではなく、元々あった</p>

事務局	<p>施設の利用者の新たな施設への交通手段も考えてもらいたいです。複合化で施設が遠くなり、行くのが困難になる場合もあると思います。</p> <p>例えば、学校を統合した望月地区では、スクールバスで登校できるよう対応しております。また、臼田地区もこれから小学校を統合していきますが、必要に応じてバス通学の範囲を広げる等していきたいと考えています。</p> <p>また、高齢化が進んでいる中、交通手段の確保については時代に則した形が必要と考えていますので、適切な方法を検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>民間資金の活用ということで、PPP・PFIとありますが、市民にも理解が深まるよう、研修等をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>実際にそういった手法を検討するような場合は、市民の皆様にも説明会等を実施していきたいと思います。</p>
委員	<p>包括的民間委託とありますが、現在該当する施設はありますか。</p>
事務局	<p>今はございません。今後、検討を進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>指定管理者制度も振興公社で実施しているものがありますが、この場合は民間の活用になりますか。</p>
事務局	<p>市が出資している団体ですが、振興公社は法人であることから、振興公社による管理も民間活用に含まれます。</p>
委員	<p>古い施設の指定管理などは、老朽化に対する対応が必要なことがあり、管理する方も大変な面があると思います。</p>
委員	<p>まず儲けが出るころは民間で実施し、公益性を重視するものは基本的に市で実施することが必要だと思います。</p>
事務局	<p>指定管理者制度の効果の1つとして、民間がやることによって例えば施設の赤字を減らせるといった部分もあるかと思っていますので、</p>

<p>部会長</p>	<p>施設ごとの状況などを踏まえ適切に制度を活用してまいりたいと思います。</p> <p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>部会長</p>	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「住宅」(4ページ)について説明</p>
<p>委員</p>	<p>今ある市営住宅はリフォームして維持していくということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>人口が減少していく中、公共施設の総量を20%減少させる目標を市では持っていますので、市営団地・住宅についても規模を縮小させていきたいと考えています。</p> <p>地域の状況により必要とされる市営住宅については、リフォーム等により維持し、利用頻度の少ない場所は廃止していくといった中長期的な計画を持って行っております。</p>
<p>委員</p>	<p>1つの棟で1世帯が住んでいるような市営住宅では、その世帯に市の空き家バンクの物件などに移ってもらい、廃止するといった方法もあると思います。地域としても空き家の解消が進めば安全面の向上が期待できると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>市営住宅では、廃止や建て替えのため入居を制限している場合もございます。</p>
<p>委員</p>	<p>公営住宅自体をまとめることはできないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>財源面など色々な課題があるかと思います。特にすでにある市営住宅に居を構えている方に引っ越ししていただくのは、難しいかと思います。</p>

委員	財源的な面もあると思いますが、今ある資源を有効に活用してもらいたいと思います。
部会長	他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。 (異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	2 地域をつなぐ交通ネットワークの形成 「高速交通ネットワーク」(5ページ)について説明
委員	「高速交通ネットワーク」の満足度指数は、他の施策と比べ高い値となっていることから、市としてこの特徴を更に売込むことが必要だと思います。この分野は、他のものよりも佐久市の特徴があるところだと思いますので力を入れて、効果的なPRに取り組む必要があるかと思います。
事務局	他の施策の中でもこの「高速交通ネットワーク」と「健康増進」は満足度指数が高く、地域の強みであると認識しており、そのことを踏まえ施策を展開していきたいと考えております。
委員	満足度が高いというのは、車でも鉄道でも首都圏から近いということが要因かと思います。 佐久平スマートインターチェンジは平尾山にあるインターチェンジのことでしょうか。
事務局	そうです。利用者が減るとインターチェンジ自体が廃止になることがあるので、利用者の確保に努めております。
委員	佐久平スマートインターチェンジの利用率は下がっているということでしょうか。
事務局	中部横断自動車道から上信越道へ直接乗り入れられるようになったので、以前よりは減っているのが実状ではないかと思います。

委員	<p>利用率を上げるため、具体的に取り組んでいることはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>佐久平ハイウェイオアシスからパラダやみはらしの湯等は直結していますが、佐久平スマートインターチェンジを利用いただき、高速から降りての施設利用と併せ佐久市内を周遊していただけるよう、各施設と連携し、デジタル掲示板等による PR を実施しています。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「地域交通ネットワーク」(6 ページ) について説明</p>
委員	<p>デマンドタクシーの利用についてですが、利用者にとってもう少し便利になると良いと思います。事前の電話予約が必要で、急に出かけたいというときには利用できないなど不便に感じる場合があります。突発的な利用でも使えるような対応が必要だと思います。</p> <p>利便性の向上は財政的な面からも困難な部分があると書いてはありますが、今後は高齢者の免許証の返納が増えることが予想されますので、利便性の向上には取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、免許証の返納者にはタクシーチケットのような特典を付けるなどの対応も必要だと思います。</p>
事務局	<p>免許返納者に対して昨年度から、デマンドタクシーの10組チケットを交付する事業をスタートしています。</p>
委員	<p>利便性の面では、システムの導入にはお金がかかるとは思います。電話でなくスマホアプリなどで簡単にタクシーを呼べるといいと思います。</p>

事務局	<p>現在、様々な企業が、地域公共交通においてA Iにより配車の効率化、自動運転の導入といったことに取り組み始めており、そのような動きも実験段階ですがございます。</p>
委員	<p>ぜひ佐久市でも実施していただきたいと思います。</p>
委員	<p>人口が減少する中、今後はバスを運行していく事は難しくなっていくと思います。バスにかけていた財源はタクシー等に入れることが必要ではないでしょうか。特に高齢になれば、停留所まで歩くか、家まで迎えに来てくれるかは大きな違いになるので、タクシーの活用が大きく求められると思います。</p>
事務局	<p>その時代に合った対応が求められることとなりますので、必要な取組に予算を投入したいと考えています。</p>
委員	<p>このような課題を地元のバス会社の方やタクシー会社の方と協議することはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域公共交通の事業者を交えた会議があり、その場で色々な話し合いは持たれております。</p>
委員	<p>バス会社の方もローカル線を維持する為に相当苦勞していると思いますので、しっかりとした検討をお願いします。</p>
委員	<p>デマンドタクシーはタクシー会社に委託しているかと思いますが、委託料金はタクシーの出動回数で支払っているのでしょうか、それとも乗車人数などで支払っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>単価契約であり、乗った人数ではなく、出動した件数でお支払しています。できるだけ効率良く運行するために、例えばA地点・B地点・C地点と回って多くの方に相乗りしてもらえるようPR等しております。</p>
委員	<p>タクシーに乗る料金と比べるとデマンドタクシーは数十分の一であるため、相乗りといった不便さは仕方がないかと思います。</p>

事務局	<p>今後は、サービスを運ぶという考え方も必要かと思えます。</p> <p>例えば、買い物のために出かけるということであれば、代わりに買い物の品が届くということもサービスとして考えられます。</p> <p>また、病院に行くのではなく、通信で問診を受けるようなことができれば、その方が効率的な面もあるかと思えます。</p> <p>全国的にはそういった取組が進んでいるところもありますので、今後の費用の負担を抑える意味でも交通といったことに縛られず検討していくことが必要と思えます。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>予定した議事は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。</p> <p>(特になし)</p>
部会長	<p>それでは、以上で本日の全ての審議が終了となります。</p>

(2) その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」第3章

日程について説明 (8月7日(水) 15:00から 602会議室)

3 閉会